

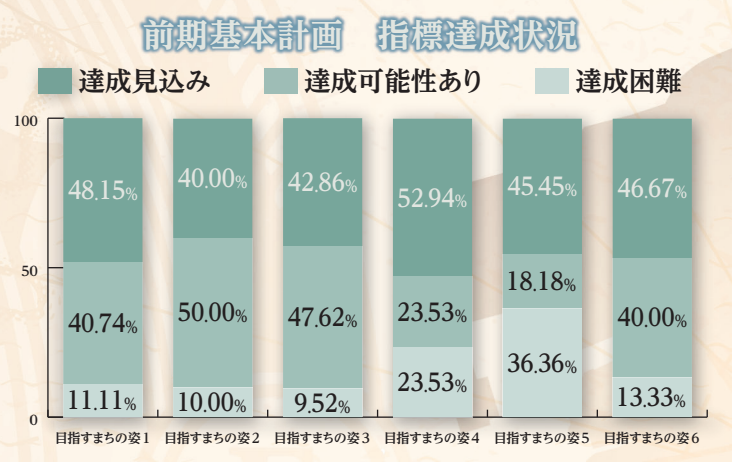
～これから5年間のまちづくり～ 話そう。糸満市のこれからの～

皆さんは「糸満市総合計画（以下、総合計画）」、「糸満市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略）」を知っていますか？
それぞれが糸満市のまちづくりで重要な役割を担っていますが、「総合計画」の「前期基本計画」と「総合戦略」の計画期間が令和8年3月で終了するため、現在、計画の見直し作業をすすめています。
今月は、それぞれの概要や、策定にかかる取り組み、今後の流れをお伝えします。

「総合計画」「総合戦略」とは？

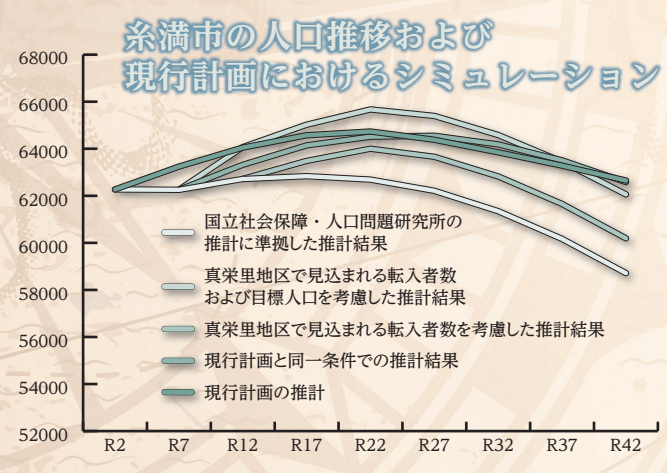
「総合計画」は、糸満市の目指す将来の姿を示し、そのために必要なまちづくりの取り組みなどが記された市で最上位の計画です。現在の第5次総合計画では「つながりを深めチャレンジするまち糸満市」を目指して、さまざまな取り組みが実施されています。また、計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3段階で構成されています。計画期間が10年と長期にわたるため、社会情勢の変化や、そのときの市の状況を踏まえ、「基本計画」は5年、「実施計画」は毎年度見直すこととしています。

一方、「総合戦略」は法令や国・県の計画を参考に作られたものです。将来の人口を予測した「糸満市人口ビジョン」に注目し、「総合計画」に記されたまちづくりの取り組みの中でも、人口維持や増加に向けて重点的に進める「子育て支援」「雇用創出」「交流・定住促進」に関する具体的な施策や数値目標が記されています。



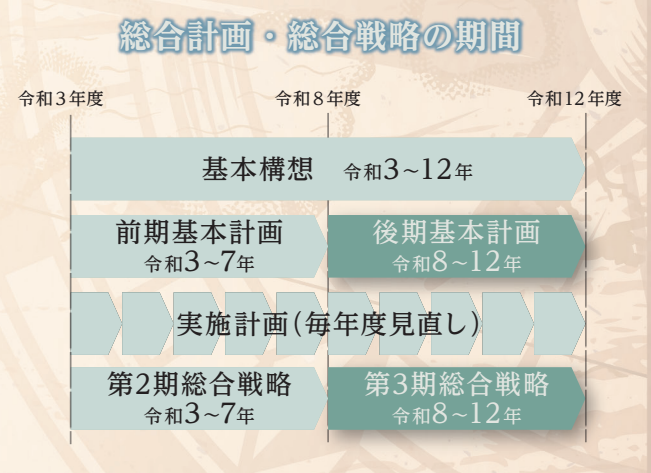
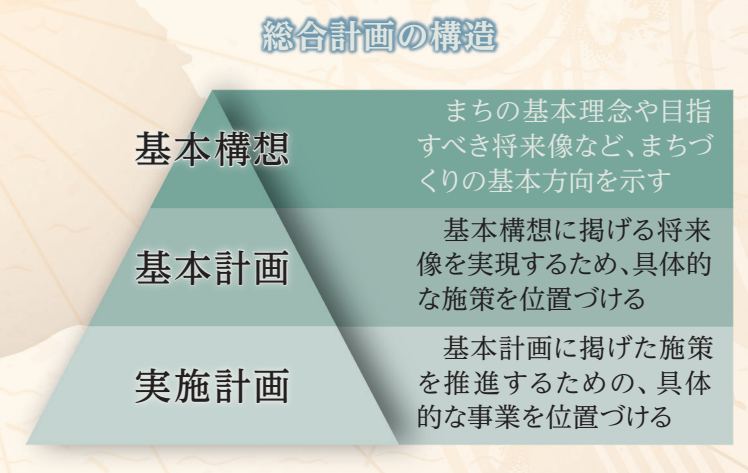
「後期基本計画」と「第3期総合戦略」の策定に向けて

「前期基本計画」の評価などを踏まえ、「後期基本計画」と「第3期総合戦略」の策定に向けた9つの方針を定めました。その内の一つ、「糸満市の人口ビジョン」の見直しにおいて、複数のパターンで人口シミュレーションをしました。その大半において、令和12年の目標人口として設定してい



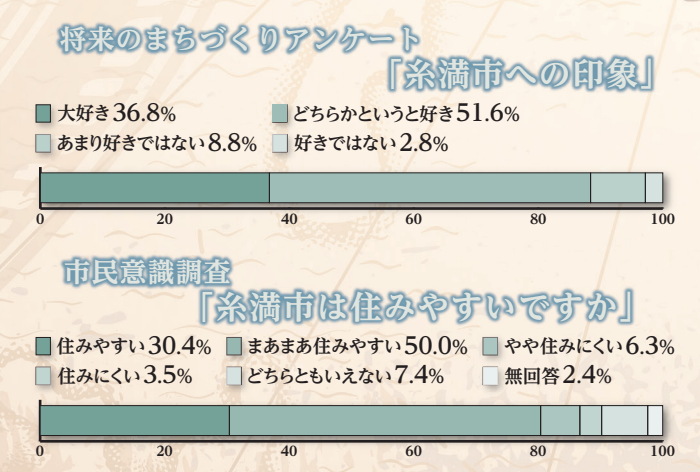
また、18歳以上の市民約2000人を対象とした市民意識調査を実施しました。さらに、子どもや若者の声を聴き、計画へ反映させる取り組みとして、市内小学6年生から中学3年生の約2800人を対象とした将来のまちづくりアンケートを実施しました。それぞれの取り組みで得られた回答は、さまざまな分析を行い、「後期基本計画」における各施策を検討するための資料として活用されます。

る64000人を下回る結果となりました。



これまでの取り組みと評価

総合計画では、「1・安心して産み育て、学び、文化・スポーツに親しむ糸満市」「2・市民みんなが心身ともにすこやかに暮らす糸満市」「3・支え合って共に生きる平和のまち糸満市」「4・きれいなまち」「5・豊かな資源をいかし、活気にあふれた糸満市」「6・人と人の輪がつながり、みんなで動かす糸満市」と6つの方向性を「目指すまちの姿」として示しています。この6つの目指すまちの姿の中に25の政策分野があり、そこで112の指標と211の施策を設定し、令和3年度から、さまざまな取り組みを進めています。見直しにあたり、「前期基本計画」の5年間の評価したところ、112の指標は「達成見込み」、「達成の可能性あり」の割合が85.0%を超えています。また、211の施策について、独自の評価方法として設定した「進捗良好率」の結果は82.5%で、前期基本計画はおおむね順調に進んだと考えています。



あなたが考える
未来の糸満市は～

「後期基本計画」と「第3期総合戦略」は、令和8年3月に策定します。策定までの間、さらに多くの意見などを聴き、計画に反映させるため、オンラインプラットフォームを開設しました。あなたの思い描く未来の糸満市はどのようなまちでしょうか？皆さんのご意見をお待ちしています。

オンラインプラットフォーム
フォームの詳細は、裏表紙をご覧ください。